

資料番号	地域 3
------	------

令和 6 年 5 月 17 日
課 名 地域政策局地域力創造課
担当者 課長 兼田
内 線 2578

令和 5 年度「ひろしまスタイル定住促進事業」の実施状況等について

1 要旨・目的

県外からの移住者の獲得に向けて、「魅力発信」、「マッチング」、「受け皿づくり」を一体的に展開する「ひろしまスタイル定住促進事業」について、令和 5 年度の実施状況を報告する。

2 現状・背景

これまでの取組により移住世帯数は着実に増加しているものの、今後も移住世帯数を増加させるためには、移住検討者だけではなく、移住の可能性が潜在的にある層や行政窓口を訪問しない大多数の移住希望者に向けた対策が必要である。

3 概要

(1) 対象者

東京圏を中心とした移住希望者、市町

(2) 事業内容（実施内容）

県外からの移住者の獲得に向けて、魅力発信、マッチング、受け皿づくりの取組を一体的に展開した。

東京都内で移住フェアや市町等と連携した相談会の開催の他、オンラインによるセミナーの頻度高い実施、ホームページ「HIROBIRO.」での市町ページや会員限定のアーカイブ動画配信を開始するなど、リアルとオンラインを組み合わせた形で、各種事業を実施した。

ア 広島らしいライフスタイルの魅力発信

- (ア) デジタルマーケティングの手法も活用したホームページや SNS による情報発信
- (イ) 市町や企業等と連携して個別相談やセミナーを行う移住フェアの開催（3 回、集客数 462 組、セミナーはオンラインでも配信）
- (ウ) 食の魅力や転職、継業など様々なテーマによるセミナーを、オンラインを中心に頻度高く開催（22 回、集客数 1,218 人）

イ 移住希望者と地域のマッチング

- (ア) 東京相談窓口での相談対応を引き続き実施（相談件数 2,176 件）
- (イ) 市町や人材紹介会社の職員等の同席による相談会を開催（16 回）
- (ウ) AI を活用した相談対応システムの運用・潜在層向けの情報拡充

ウ 移住者に対する受け皿づくり

- (ア) 移住者に寄り添って、地域の人や仕事、住まい、生活環境の情報提供・紹介など、移住にあたっての不安に応える地域コーディネーター（14 人）と新たに市町を横断した広域エリアで目的別に対応できる移住サポーター（2 人）を設置（地域コーディネーター等とのオンライン面談や現地アテンドを実施した 28 組中 5 組が移住）
- (イ) 地域での移住の受け皿としての活動を促すことを目的に移住体験コンテンツ（移住ツアー）を市町と共同で実施（4 回、集客数 40 人）
- (ウ) 移住支援金・起業支援金の交付

{
 移住支援金 R 4:5 件 ⇒ R 5:22 件（うち就業 1 件、テレワーク 21 件）
 起業支援金 1 件（三原市、情報サービス業） ※令和 5 年度新規事業

(3) スケジュール

—

(4) 令和5年度予算（国庫・単県）

168,701千円（うち国庫47,700千円、単県121,001千円）

(5) 事業効果・検証結果

区 分		R4 年度	R5 年度	
【ワーク目標】 県外からの 移住世帯数	県・市町移住施策捕捉分	県分 実績	91世帯	96世帯
		市町分 実績	168世帯	160世帯
	オンライン捕捉分	実績	337世帯	393世帯
	合 計	実績 (目標)	596世帯 (594世帯)	649世帯 (628世帯)
【事業目標】 相談件数（※イベント時の相談を含む）		実績 (目標)	4,011件 (3,700件)	4,001件 (3,700件)
【事業目標】 HIROBIRO 新規会員登録者数		実績 (目標)	700人 (—)	484人 (1,000人)
(参考) 移住希望地ランキング 2023 （ふるさと回帰支援センター）		1位(セミナー)	7位(セミナー)	
		6位(窓口)	10位(窓口)	

- (ア) 県外からの移住世帯数は、広島市分が増加したことなどにより、649世帯となり、目標を達成した。
- (イ) 相談件数は、前年度に比べ、移住フェアの集客数が減少したもののセミナーでは増加した結果、4,001件となり、目標を達成した。
- (ウ) HIROBIRO 新規会員登録者数は、当初の目論見であるあびいちゃん友達登録者からのHIROBIRO 会員登録への誘導が進まなかったことから、目標1,000人に対し、484人と目標達成に至らなかった。
- (エ) 移住希望地ランキングは、セミナー部門では、ふるさと回帰支援センターとの共催イベントの開催を見直したことを背景に7位に、また窓口部門では、相談窓口の新規相談者数を前年と同水準に維持したものの10位となった。

(6) 今後の対応

県外からの移住者の獲得に向けて、引き続き、「魅力発信」、「マッチング」、「受け皿づくり」の取組を一体的に進める。

令和6年度は、移住チャットボットあびいちゃんを新たに構築（6月中旬）するとともに、ホームページ「HIROBIRO.」のコンテンツの充実を図るなど、デジタル技術を最大限活用して、より多くの移住希望者の広島移住への関心や移住検討の熟度を高める取組に注力する中で、年間1万7千人の新規移住希望者との接点を持つふるさと回帰支援センターの特性も活用しつつ、取組を推進する。

HIROBIRO 会員登録については、会員メリットの拡充や効果的な広報を検討・実施することにより、促進を図る。

また、国のデジタル田園都市国家構想交付金の制度を活用した移住支援金・起業支援金により、移住者を着実に増加させていく。

〔 令和6年度予算（国庫・単県）
149,180千円（うち国庫47,710千円、単県101,470千円） 〕

4 その他

移住専用サイト「HIROBIRO.」

<https://www.hiroshima-hirobiro.jp/>